

[業界別レポート] 働く人と職場 －ドライバー編－

2015年10月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

[業界別レポート] 働く人と職場－ドライバー編－とは

「[業界別レポート] 働く人と職場」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートは中でも、物品を配送するドライバーやタクシー・バスのドライバーを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ドライバー業界の就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、ドライバー業界の就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。企業側は店長以上の役職の方を対象としています。

ドライバー業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
1. 仕事の選択理由	3
2. 仕事を継続する理由	5
3. 離職の理由	7
4. 必要を感じる改善点	9
5. 意向・非意向の理由	11
【参考】 勤務時間	13

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2015年3月25日（水）～3月29日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（店長）・経営層、かつ人事（採用）または総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はドライバー業界の、計924人。

		個人側				企業側
		就業経験者		就業非経験者		
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
飲食店	ファーストフード	102	368	200	200	30
	居酒屋	118	337	200	200	37
介護サービス		188	186	200	200	142
ドライバー		195	188	200	200	141

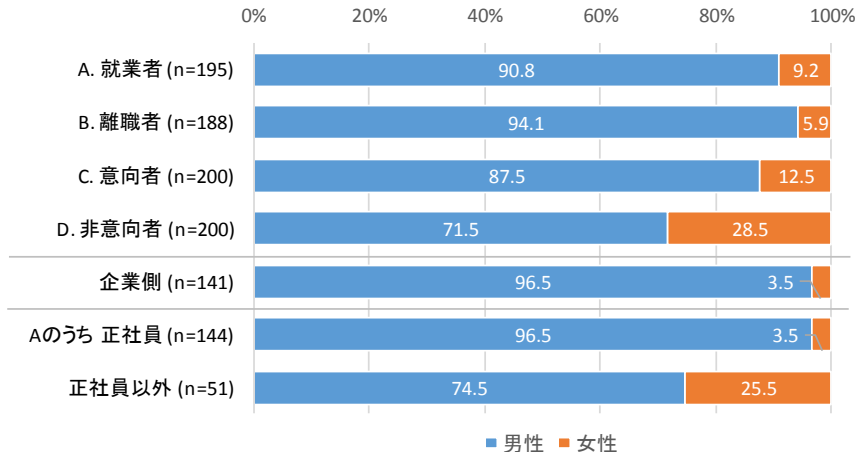
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

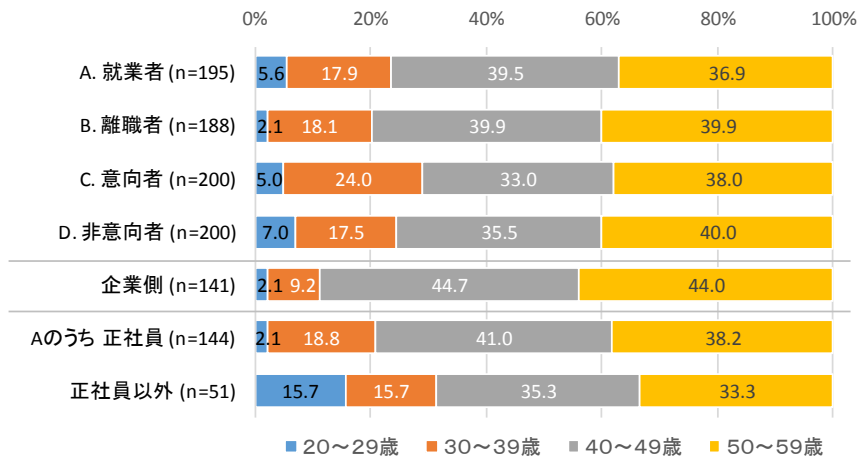
回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。いずれのセグメントでも男性の比率が高く、7割以上を占めている。A. 就業者、B. 離職者、企業側、Aのうち正社員※では、9割以上が男性となっている。

※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。



■ 年齢

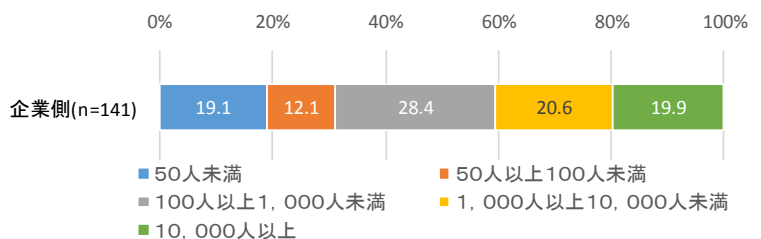
回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。いずれのセグメントでも40～49歳と50～59歳が同程度で多くなっている。企業側は役職者ということもあり40代以上の割合が高く、就業者、特に正社員以外は20代・30代が比較的多い。



■ 従業員規模 (企業側)

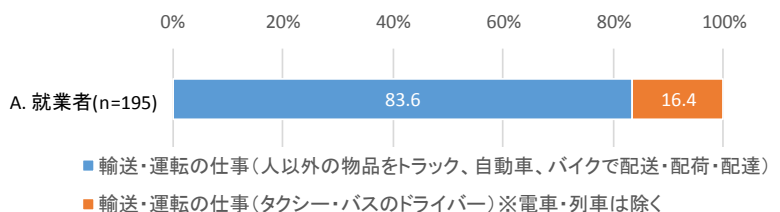
企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。

10,000人以上が19.9%、1,000人以上10,000人未満が20.6%と、大規模な企業が多い。



■ 現在の仕事の分野 (A. 就業者)

「人以外の物品をトラック、自動車、バイクで配送・配荷・配達」が83.6%、「タクシー・バスのドライバー」が16.4%。

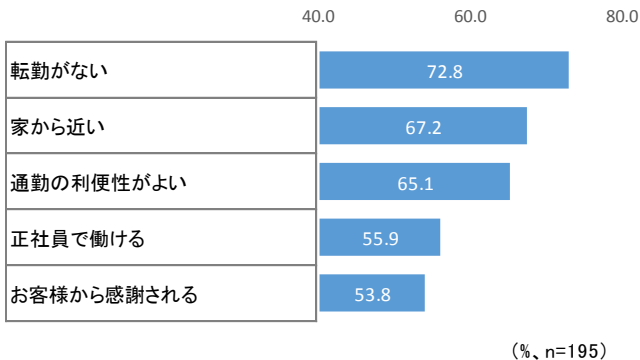


1. 仕事の選択理由

A. 就業者と企業側

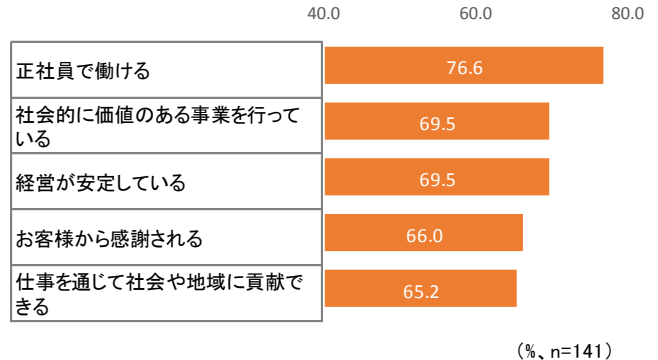
A. 就業者の上位5項目

就業者が現在の仕事を選んだ理由は、上位3つが勤務場所についての項目だった。次いで「正社員で働ける」「お客様から感謝される」となっている。



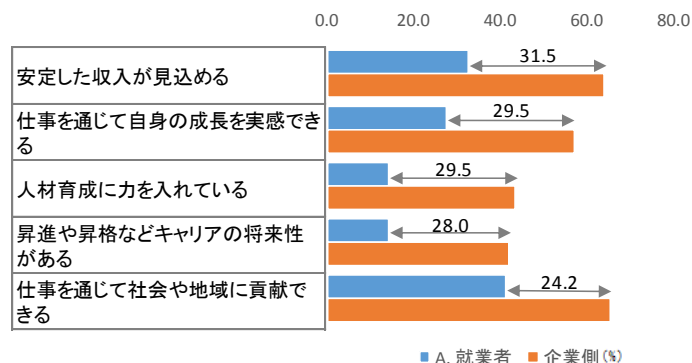
企業側の上位5項目

企業側が考える理由は、「社会的に価値のある事業を行っている」など、やりがいや会社・事業への評価が上位に挙がっている。「正社員で働ける」「お客様から感謝される」は就業者と共通している。



A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

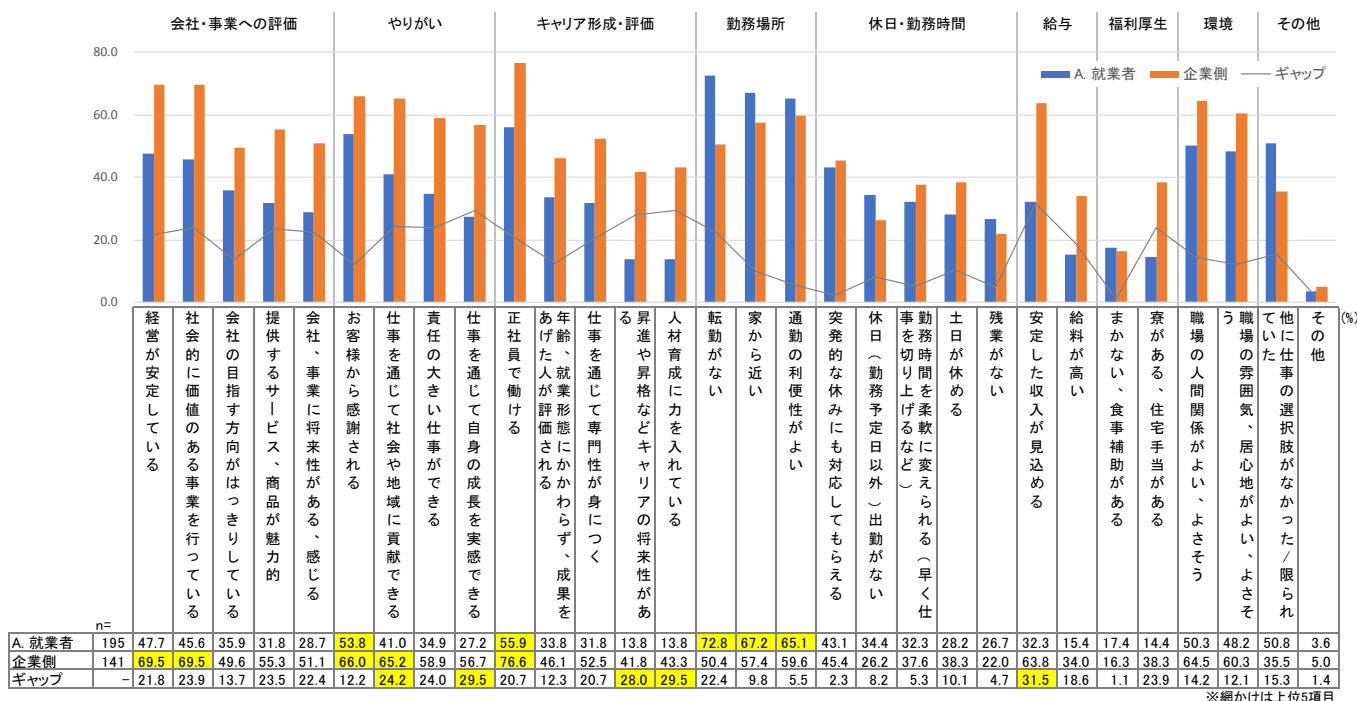
「安定した収入が見込める」「仕事を通じて自身の成長を実感できる」「人材育成に力を入れている」など、いずれも企業の方が選択理由として多いと考えている。



1. 仕事の選択理由

【A. 就業者】 Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、営業所）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。（非常にあてはまる・ややあてはまる計）

【企業側】 Q. 従業員の方々が、お勤めの会社を選んだ理由はどのようなことだと思われますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計）



ドライバーがなぜその仕事を選んだのか（選んだと思うか）、現在ドライバーとして働いている就業者と企業側に聞いた。勤務場所以外はほぼすべて、企業側の方があてはまると答えている。

就業者があてはまると答えた理由の上位3つは、勤務場所についての項目だった。次いで「正社員で働ける」「お客様から感謝される」となっている。

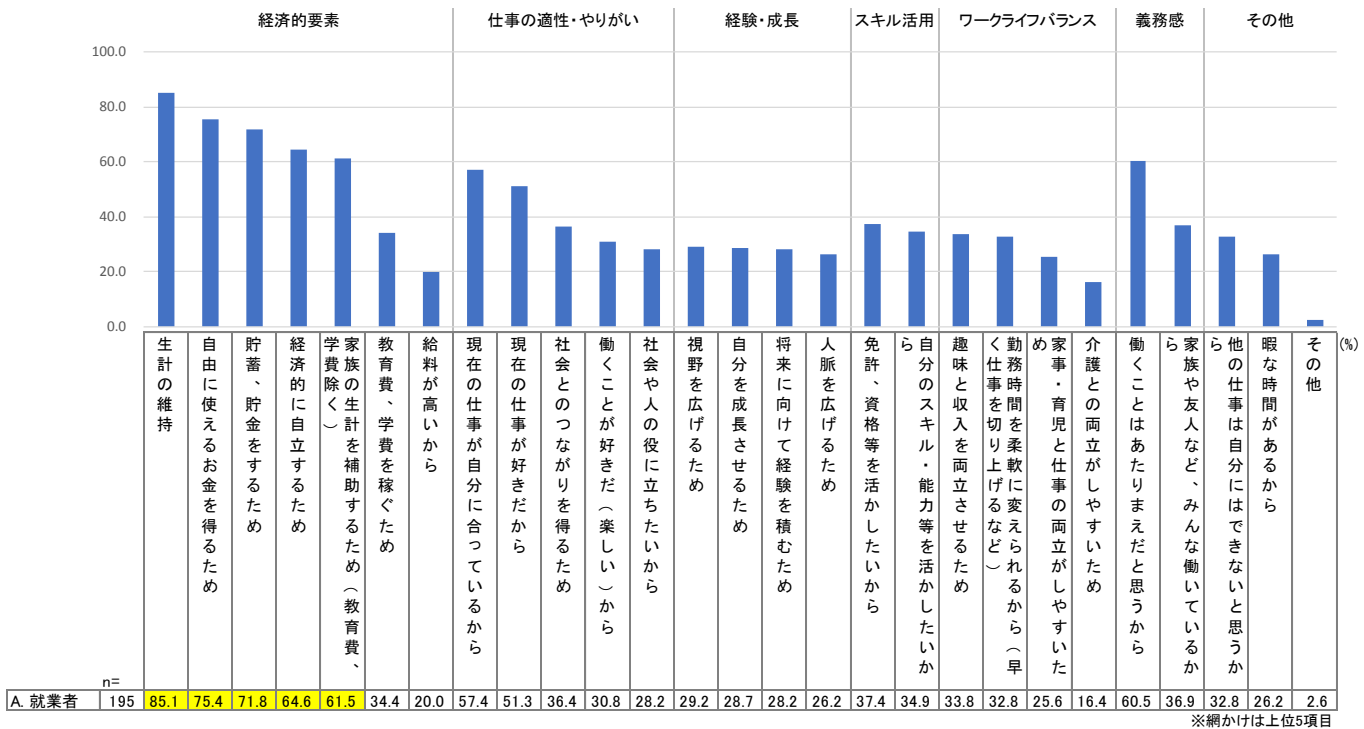
一方で企業側が考える理由は、「経営が安定している」「社会的に価値のある事業を行っている」「お客様から感謝される」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」など、やりがいや会社・事業への評価が上位に挙がっている。

就業者と企業側でギャップが大きい項目は、「安定した収入が見込める」「仕事を通じて自身の成長を実感できる」「人材育成に力を入れている」などとなっている。成長やキャリアについての項目で特にギャップが大きい。企業側が考えている業界のよい面が、就業者が仕事を選んだ理由にあまりなっていないということがわかる。

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

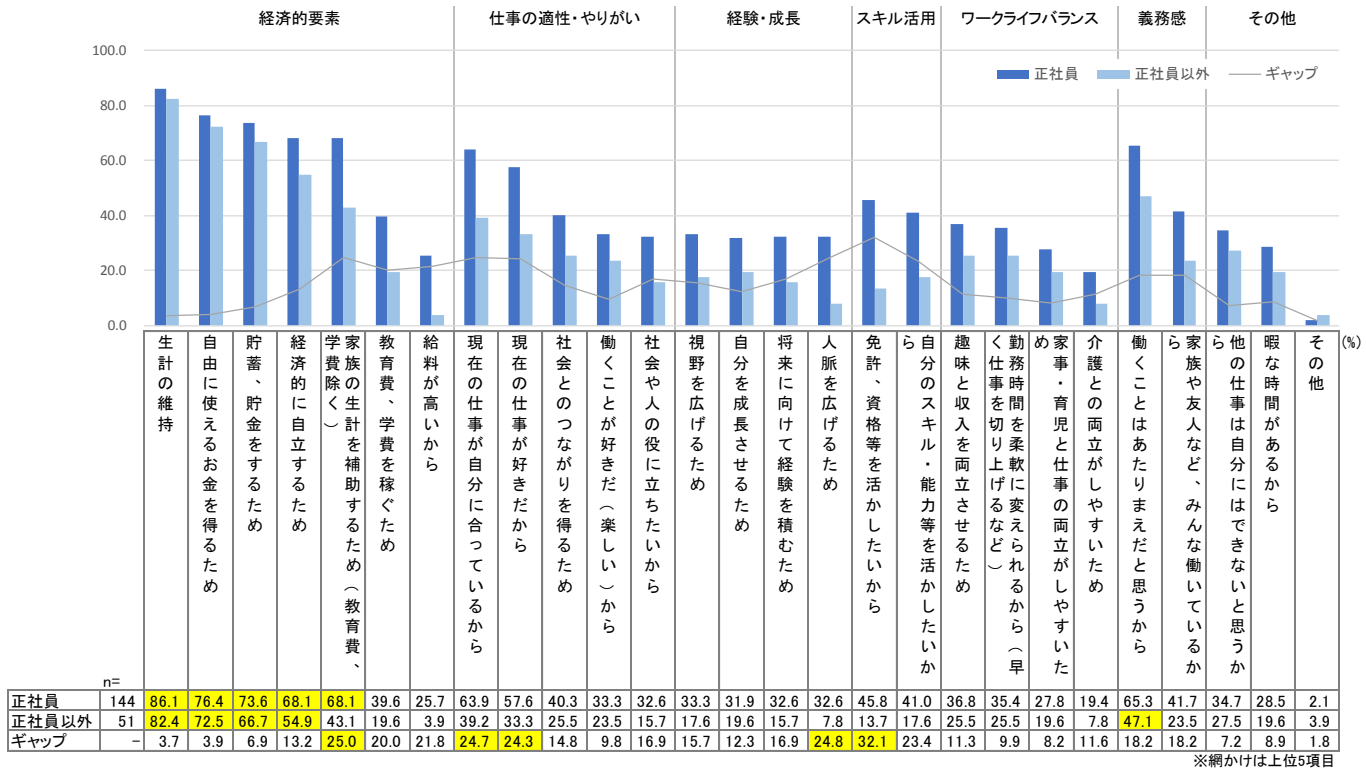
【A. 就業者】 Q. あなたが現在、「輸送・運転の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計）



就業者に、ドライバーとしての仕事を続けている理由を聞いた。上位5項目は「生計の維持」85.1%、「自由に使えるお金を得るため」75.4%など、いずれも経済的要素となっている。次いで「働くことはあたりまえだと思うから」「現在の仕事に合っているから」「現在の仕事が好きだから」などが挙げられている。経験・成長やワークライフバランスに関する項目は、全体的にあまり高くない。

2. 仕事を継続する理由

【A. 就業者】 Q. あなたが現在、「輸送・運転の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計）



ドライバーとして働き続ける理由について、A. 就業者を正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。（※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。）

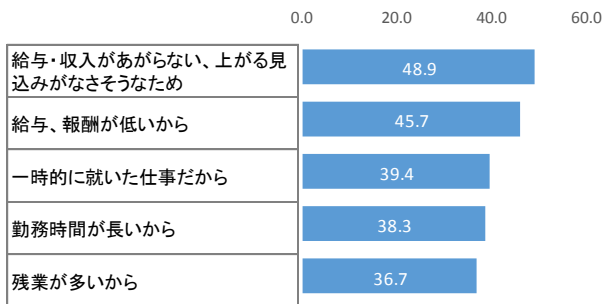
まず、正社員も正社員以外も、上位は経済的要素となる。また、「その他」を除くすべての項目で、正社員の方があてはまると回答した割合が高い。両者のギャップが大きいのは、「免許、資格等を活かしたいから」「人脈を広げるため」「現在の仕事に合っているから」などとなっている。

3. 離職の理由

B. 離職者と企業側

B. 離職者の上位5項目

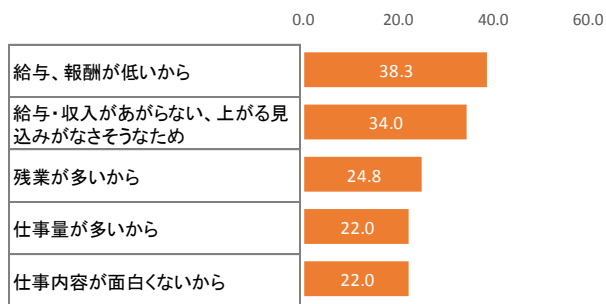
過去にドライバーとして働いていたが離職した人の離職理由は、給与面と勤務時間の面が上位に挙がっている。また、上位ではないが「自分が成長している実感がないから」といった経験・成長についての理由も企業側が考えるより多い。



(%, n=188)

企業側の上位5項目（正社員）

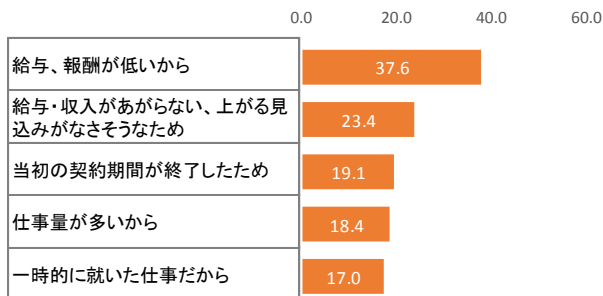
離職者の回答と同じく、給与と勤務時間が主な理由だと考えている。上位ではないが、「出産、育児のため」「結婚するため」などは離職者より多くなっており、企業にはそういった人も実際には他の理由で離職している可能性がある。



(%, n=141)

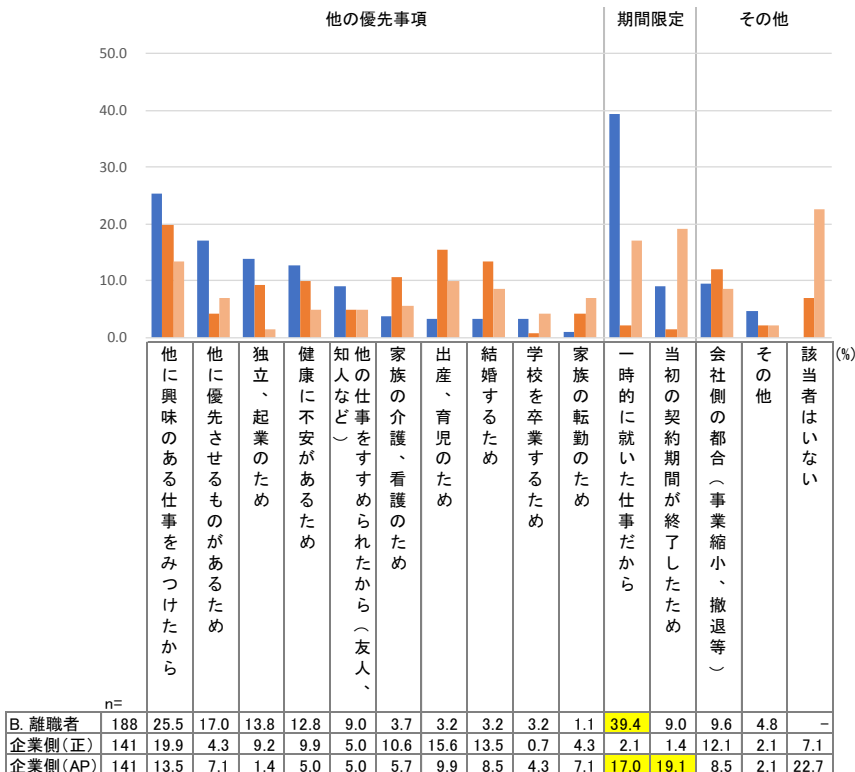
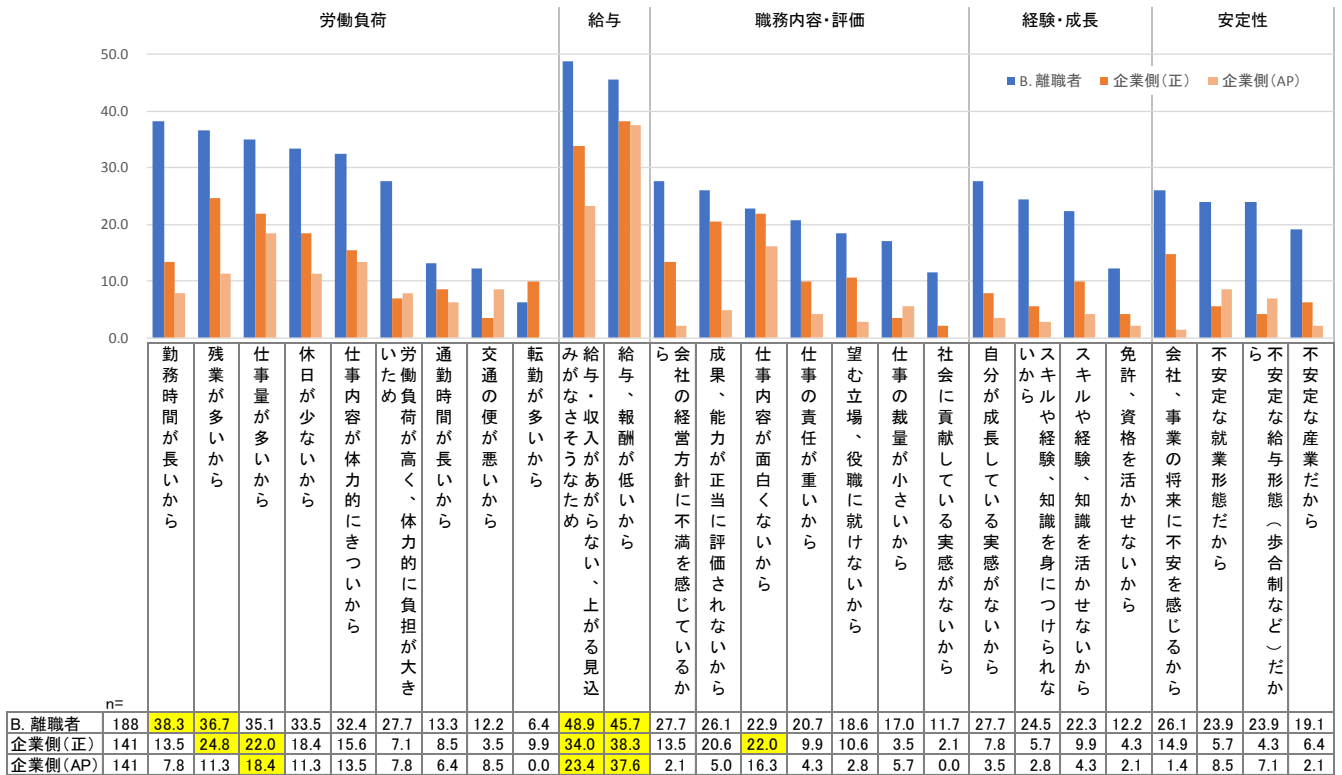
企業側の上位5項目（パート・アルバイト）

企業側は、パート・アルバイトについても、給与が最大の理由として挙げている。勤務時間については正社員ほどは理由ではなく、契約期間の終了などが主な理由だと考えている。



(%, n=141)

3. 離職の理由



【B. 離職者】
 Q. あなたが以前、「輸送・運転の仕事」で働いていたにもかかわらず、離職した（やめた）のはどのような理由からですか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計）

【企業側】
 Q. 会社を辞めた従業員の方々が、会社を辞めた理由はどのようなことだと思いますか。／正社員、パート・アルバイト（MA）

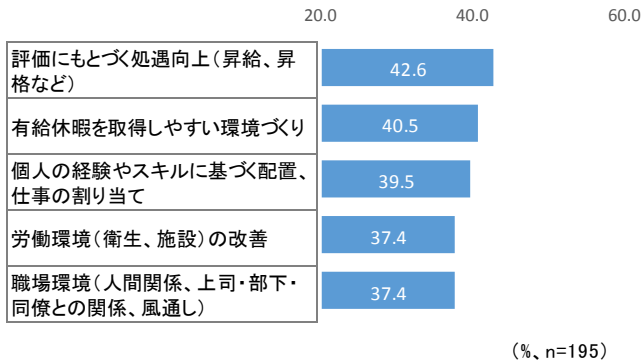
※網かけは上位5項目

4. 必要を感じる改善点

A. 就業者と企業側

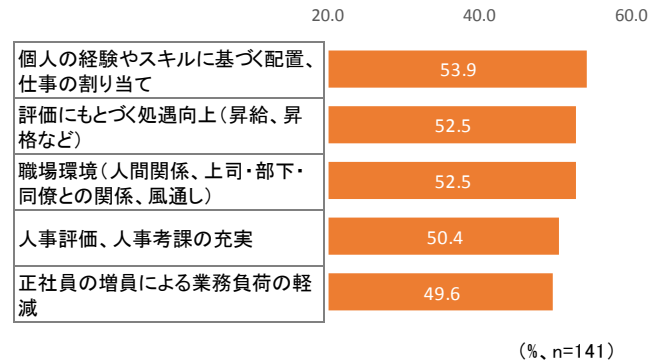
A. 就業者の上位5項目

ドライバー就業者が必要を感じる改善点は、「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」「有給休暇を取得しやすい環境づくり」など。離職者の離職理由で多かった、給与面と勤務時間の面が上位に挙がっている。



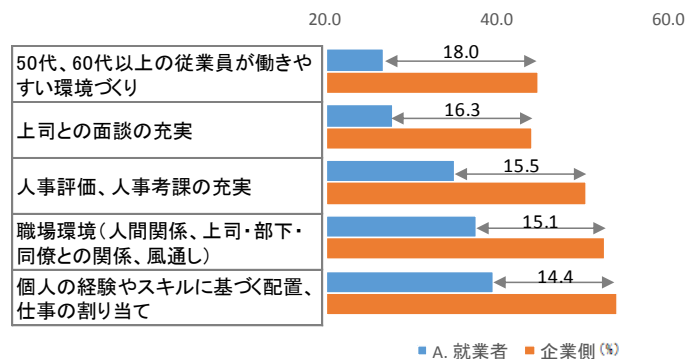
企業側の上位5項目

「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」「職場環境（人間関係、上司・部下・同僚との関係、風通し）」は、就業者が必要を感じる改善点と共通している。



A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

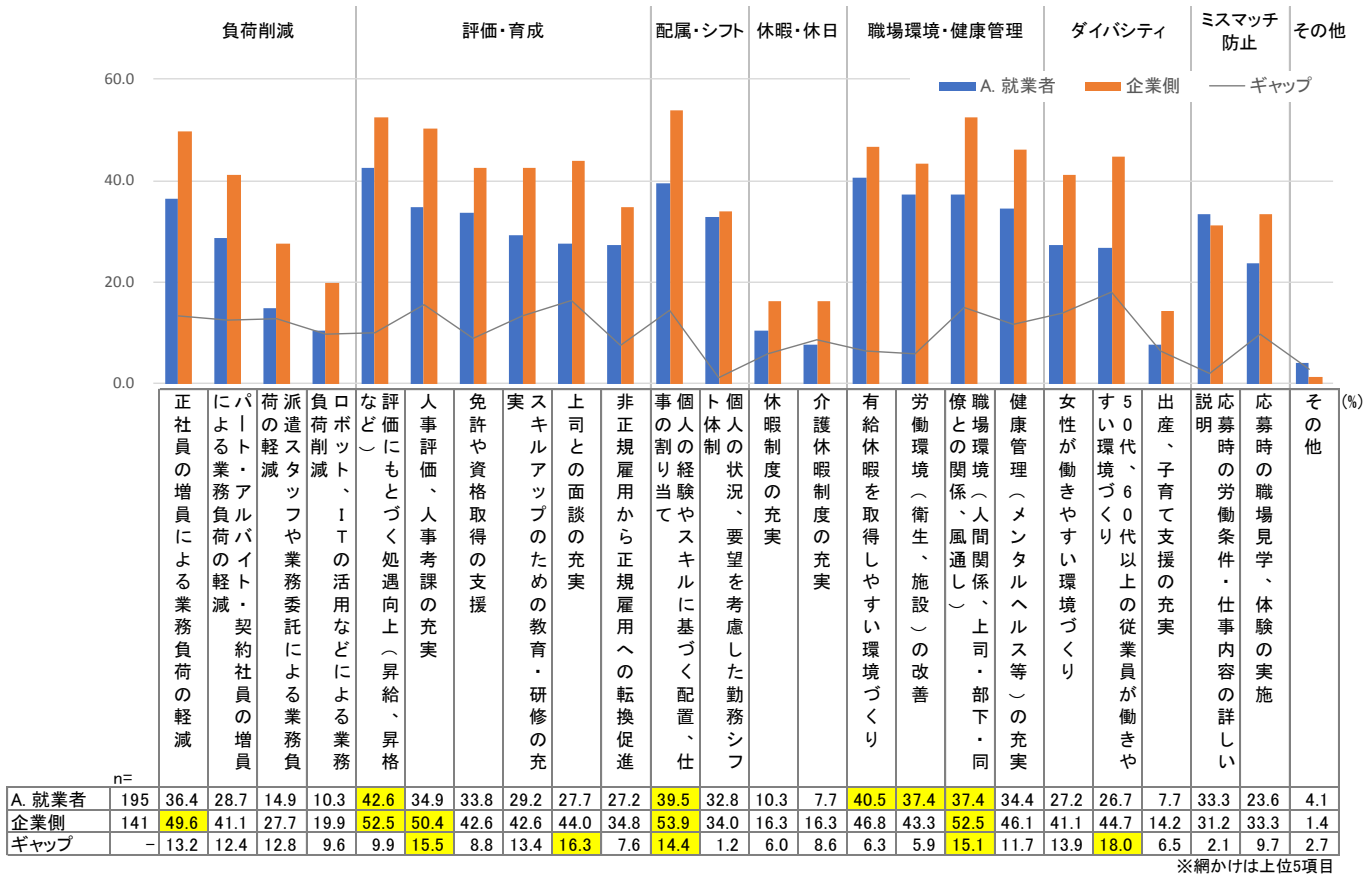
「50代、60代以上の従業員が働きやすい環境づくり」「上司との面談の充実」「人事評価、人事考課の充実」など、下記のいずれも企業の方が改善の必要を感じている。



4. 必要を感じる改善点

【A. 就業者】 Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、営業所）は何らかの改善が必要と思われませんか。（非常に必要・必要計）

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社では、何らかの改善が必要と思われませんか。（非常に必要・必要計）



現在ドライバーとして働いている就業者と企業側に、必要だと感じる改善点を聞いた。

就業者が必要を感じる改善点の上位は、「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」「有給休暇を取得しやすい環境づくり」など。離職者の離職理由で多かった、給与面と勤務時間の面が上位に挙がっている。

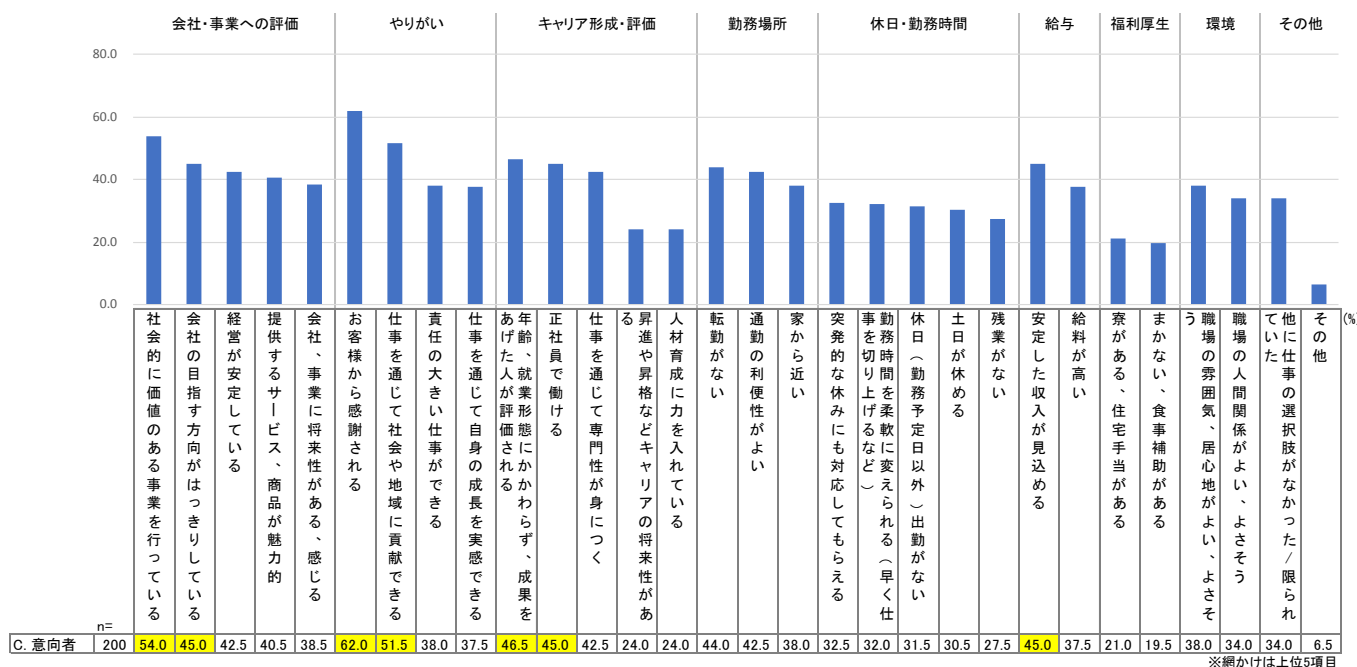
企業側は、就業者と共通する「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」「職場環境（人間関係、上司・部下・同僚との関係、風通し）」のほか、「正社員の増員による業務負荷の軽減」「人事評価、人事考課の充実」などが上位となっている。

全体的に企業側の方が課題感が強く、またマネジメントに関わる点を課題としていると言えるだろう。ドライバーは個人で行動することが多いために、職場全体の課題感を共有しづらいのかもしれない。

5. 意向・非意向の理由

C. 意向者、D. 非意向者

【C. 意向者】 Q. あなたが、「輸送・運転の仕事」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計）



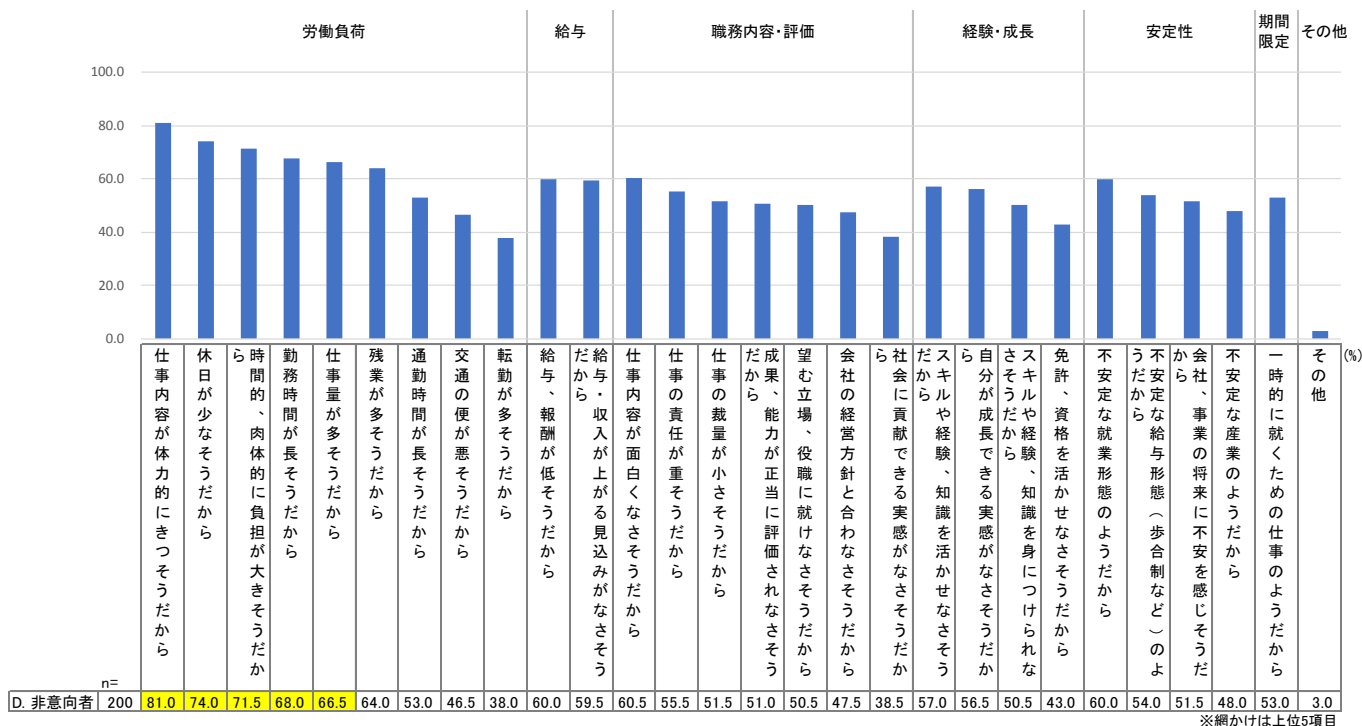
ドライバーとして働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞いた。

理由として多く挙げられたのは、会社・事業について「社会的に価値のある事業を行っている」「会社の目指す方向がはっきりしている」、仕事のやりがいについて「お客様から感謝される」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」、キャリア形成・評価について「年齢、就業形態にかかわらず、成果をあげた人が評価される」「正社員で働ける」、給与について「安定した収入が見込める」などである。

意向者が感じている良いイメージを、実際にドライバーとして働こうとしている人や働いている人も持ち続けるようにすることが、業界の状況改善につながるかもしれない。

5. 意向・非意向の理由

【D. 非意向者】 Q. あなたが、「輸送・運転の仕事」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からですか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計）



ドライバーとして働いたことはなく働いてみたい気持ちがない非意向者に、その理由を聞いた。

もっとも大きな理由となっているのは労働負荷で、「仕事内容が体力的にきつそうだから」「休日が少なそうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」「勤務時間が長そうだから」「仕事量が多そうだから」が上位となっている。

この他に「給与、報酬が低そうだから」「スキルや経験、知識を活かせなさそうだから」「不安定な就業形態のようだから」などの面で不安を感じている。

離職者の離職理由と近くなっていることから、離職者を減らすことや離職理由のヒアリングを丁寧にすることが、非意向者のイメージ改善にもつながるかもしれない。

【参考】勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

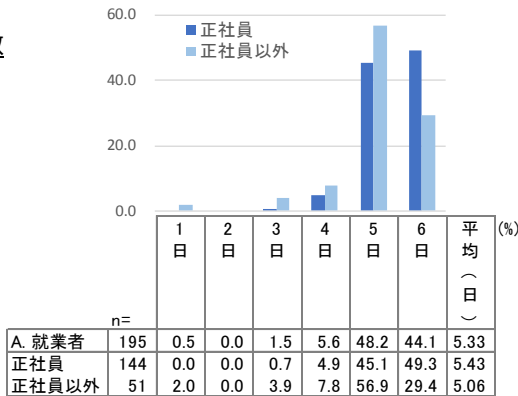
【A. 就業者】

Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務日数をお知らせください。（NU）

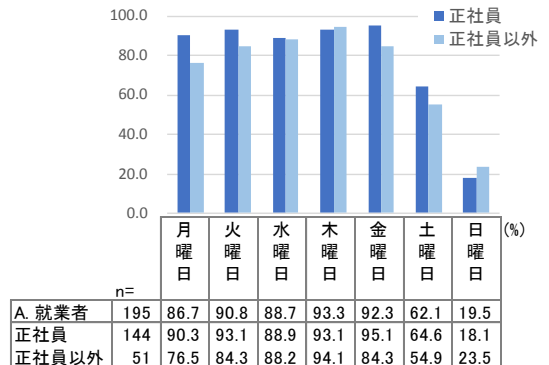
Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務曜日をお知らせください。（MA）

Q. あなたの勤務の時間帯であてはまるものをお知らせください。（MA）

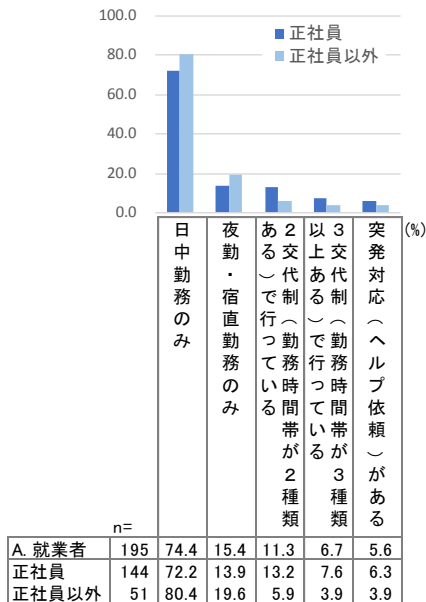
1週間の 勤務日数



勤務曜日



勤務時間帯



参考として、現在就業者の勤務時間について聞いた。

1週間の勤務日数は、大半が5日か6日となっている。正社員は約半数が6日で、交代制などの割合も正社員以外と比べると高い。

1日の勤務時間は、正社員は7時間より多い人が多く、「7時間より多く8時間以内」という人が約3割で、「9時間より多く10時間以内」「8時間より多く9時間以内」が続く。正社員以外では7時間以内という人も比較的多くなっている。

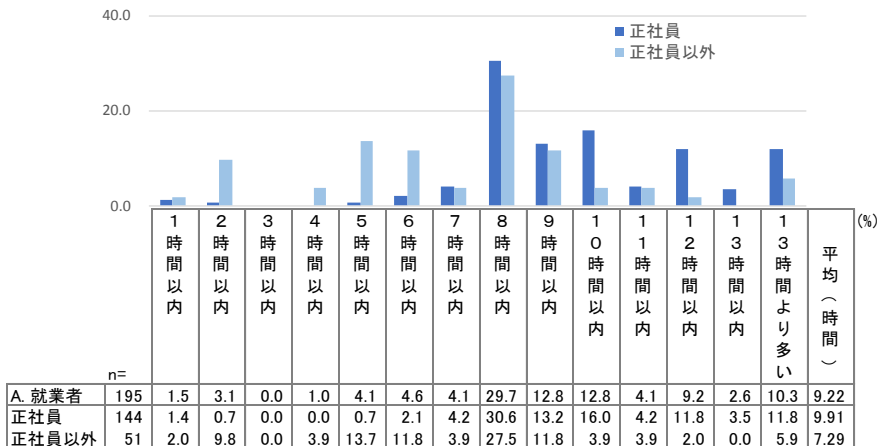
【参考】 勤務時間

【A. 就業者】

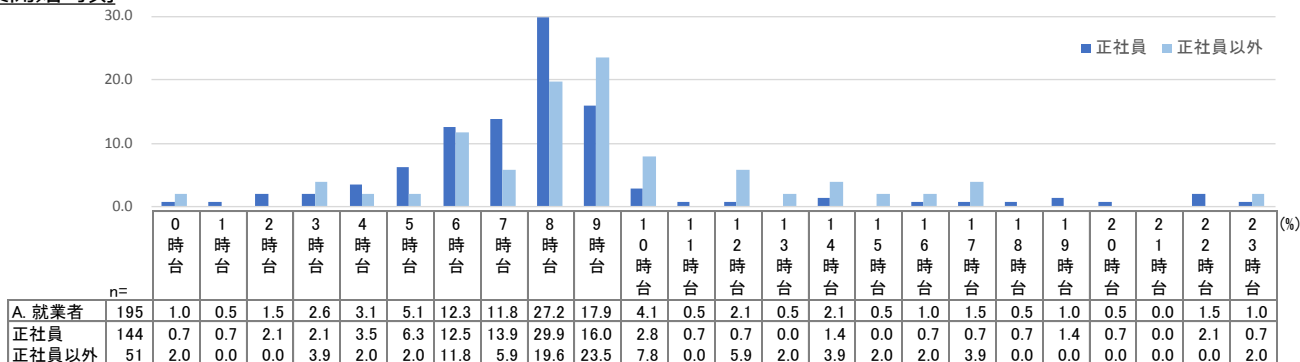
Q. あなたご自身の代表的な（よくある）、1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（NU）

Q. あなたがお勤めの会社の代表的な（よくある）1週間の勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に記入してください。／パターン1（NU）

1日あたりの
平均勤務時間



就業開始時刻



終了時刻

